

枚方市改革・改善サイクル 点検・評価の視点

枚方市改革・改善サイクルにおいては、事務事業総点検の取り組みや市議会・監査委員の意見等を踏まえ、以下の視点で点検・評価を行うものとする。

1. 事業自体の必要性の有無

- ・現在の社会経済情勢や市民ニーズにおいて、事業の必要性があるかどうか。

2. 実施手法・内容の妥当性

(1) 実施手法について

- ・総合計画等に則した事業となっているか
- ・他に重複した事業はないか（他の類似事業との統合は可能か）
- ・市が直接実施または補助すべき事業か
(委託、市民との協働や広域連携での事業実施は可能か)

(2) 実施内容について

①効率性・有効性

- ・事業対象の見直しや事業内容の改善の余地はないか
- ・事業に関する経費・内容などについて、類似事業・他市と比較してどうか
- ・費用対効果の検証はできているか
- ・事業の終期設定は可能か
- ・事業目的達成の手段として妥当か
- ・市民満足度の向上が図られているか

②透明性・公平性

- ・事業に関する市民への周知・PRが十分に行われているか
- ・受益者負担の考え方を取り入れる余地があるか

③目標達成度

- ・事務事業の目標達成に向けて、成果がでてきているか
- ・今後の方向性において、「改善」とした事業の成果がでてきているか